

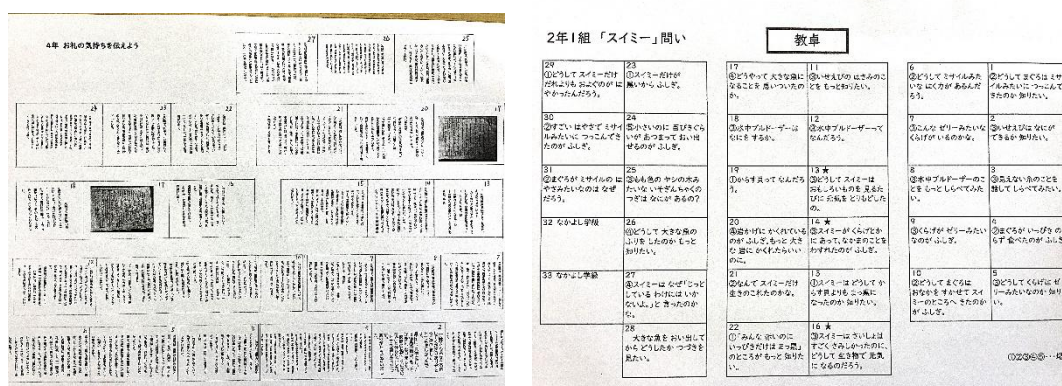
Ⅱ 全校での取組について

1 研究部より

(1) 問いをもつ

子どもたちの「ふしぎだな」「考えてみたい」という思いを大切に、授業においては学習問題を解決していく学びを進めてきた。また、子どもも自らが問いをもち追求する学びを実現するために、教員は子ども一人一人の気づきや反応を丁寧に受けとめ、個々の学びを見取りながら、単元を構成し授業を展開してきた。

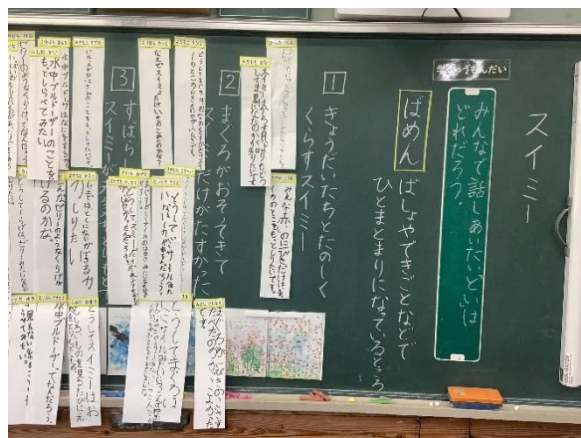
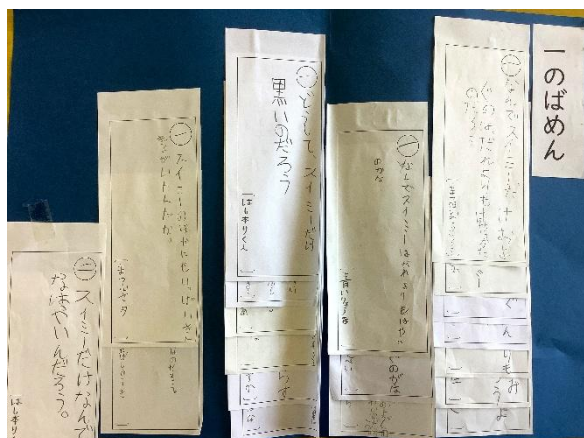
一人一人の学びの見取りについては、座席表を活用した。座席表には子どもたちの前時のふり返りや考え、その他見取りの参考になることを記し、それぞれがどのような思いや考えをもって学習に臨んでいるのかを把握し学びを見取ることに努めた。



【学級で活用している座席表】

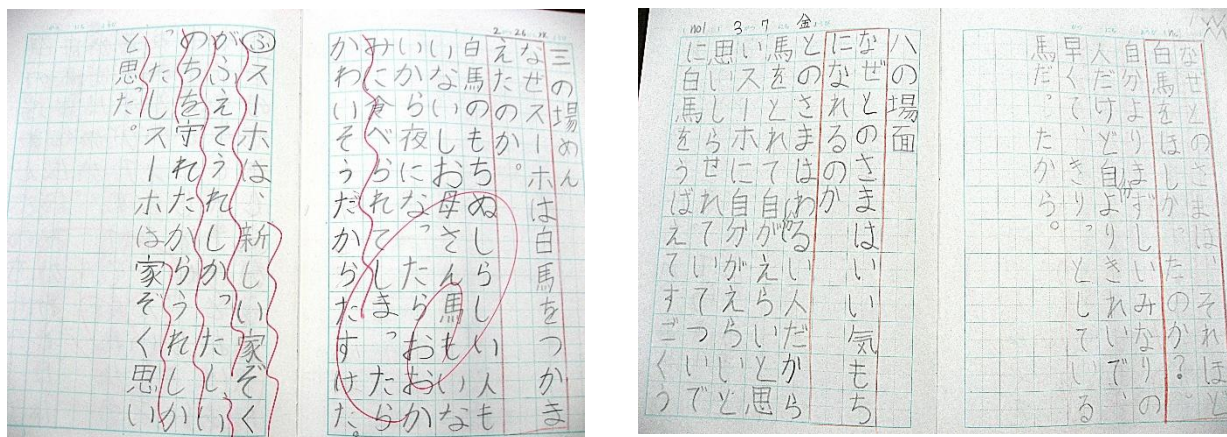
学習の初めに問いをもつことができる子どももいれば、学習の途中で問いを生み出す子どももいて、子どもによってちがいがあがる。また、学習問題は子どもの感覚的なつぶやきから生み出されることも多いため、子どもたちのつぶやきや自然な対話、発言を大切に、授業の中で取り上げていく。わたしたち教員は、子どもたちが教材の中のどこに疑問をもつのか、どのような学習問題を設定するかを常に意識しながら、教材研究を行い授業展開を工夫してきた。

子どもたちから出てきた学習問題は授業の中で「自分で調べられる問題」「みんなで考えたい問題」「教材文からは答えが導き出せないもの」等に分類し、それぞれの学習問題に対して考えを出し合い、解決に向かっていくという授業展開を重ねていく学級もあった。



(2) 自分の考えをもつ

子どもたちが学習問題に対して自分の考えをもつことができるように、考えを整理する時間を十分確保するようにした。また、学習問題について学級全体で意見を出し合い、考えの共有を継続することで、友達の意見をもとに考えをもつことができる子どもが増えてきた。さらにはそれを文章で表現したり、みんなで伝え合ったりするような学習活動が楽しいと感じる子どもも増えてきた。

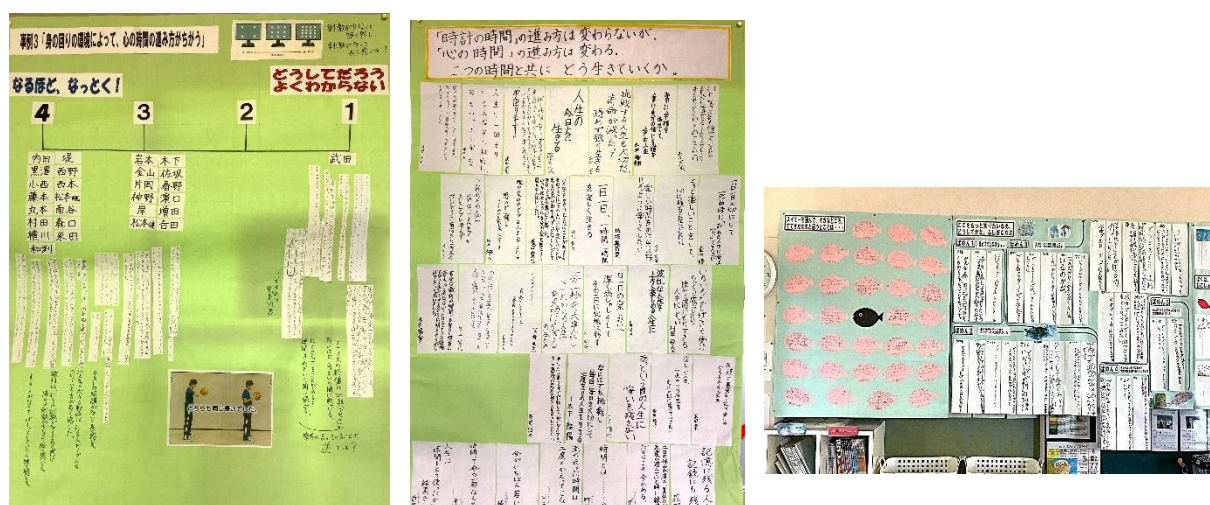


【子どもたちが自分の考えを書いたノート】

(3) 「学習の歩み」の教室掲示

子どもたちがそれまでの学習をふり返ることができる「学習の歩み」を教室に掲示した。子どもたちの目に触れやすいところに掲示することで、いつでも学習の流れや自分の意思決定、自分の考えが変容した過程を確かめたり、改めて友達の意見を見直したりすることができ、より自分の考えを深めることができた。

また学習活動の全体を捉えたり、見通しをもったりすることにもつながり、子どもの思考の流れを大切にしたい授業づくりに役立っている。この掲示により子どもたちの問いの発見から追求、そして解決に向かうという学習の流れが明確化されてきている。

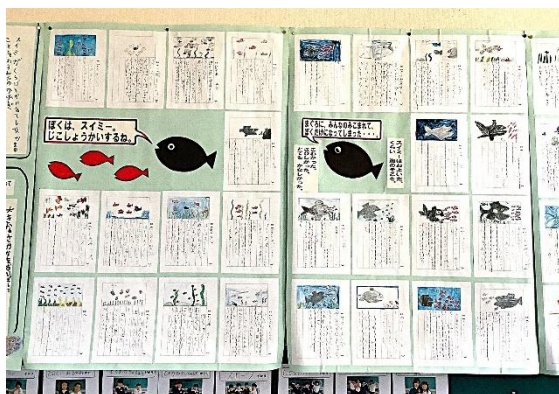


【6年生（揭示）】

【2年生（揭示）】

(4) 言語活動の工夫

子どもたちにとって魅力的な言語活動を計画し取り組んできた。子どもたちが、「おもしろそう」「やってみたい」と思えるような言語活動を提示したり、それまでの学習経験を経てどんなことができるのかを子どもたちと一緒に考えたりして実践してきた。新聞やリーフレット、本の紹介カードをつくるなど学年に応じて実践を重ねている。その学習活動の中で、子どもたちは単元に出てきた表現を使ったり、人に伝えるための効果的な表現を学び直したりしながら活動し、学びを深めている。また、子どもたちの「読んでほしい」「紹介したい」という思いを大切にしてい、友達と互いに読み合う楽しみを感じることができるような場や機会も設けた。



【2年生「スイミー日記」】



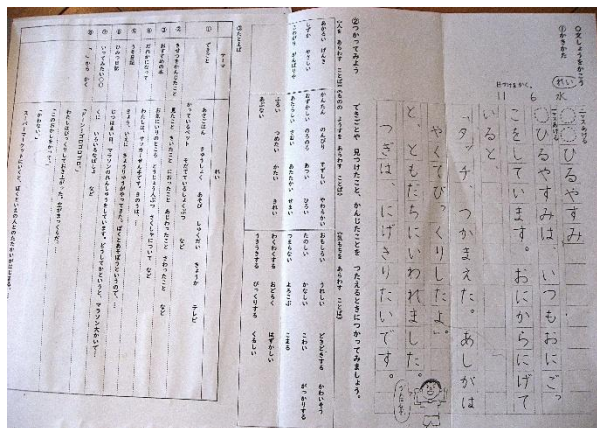
【3年生『まいごのかぎ』リーフレット】

(5) 書く活動の工夫

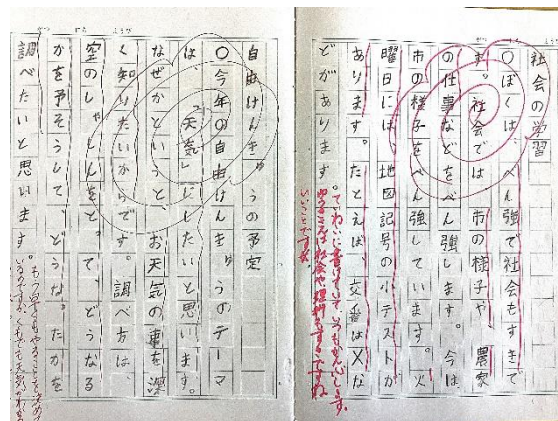
全学年で日記指導を行い、子どもたちの「書きたい」「読んでほしい」という気持ちを大切に、低学年では週2回程度、中・高学年では書く日を決めて継続して日記を書くようにした。子どもたちが書いてきた日記は、学級担任が認めたり励ましたりするようなコメントを返すだけでなく、学級で紹介して「国語の動画発表」の中で日記を書いた子どもが全校に向けて発表する場を設定し、子どもたちの書く意欲を高めている。

「書き方ヒントカード」や「書き出しの工夫」「テーマの紹介カード」など、学年に応じて書き方のポイントが示された手引きやヒントカードを提示・紹介し、書くことへの抵抗感を減らすように指導を工夫した。

「また書いてみよう」「工夫して書こう」という言語による表現活動への子どもたちの意欲を高められるようにした。



【書き方ヒントカード】



【子どもの日記】